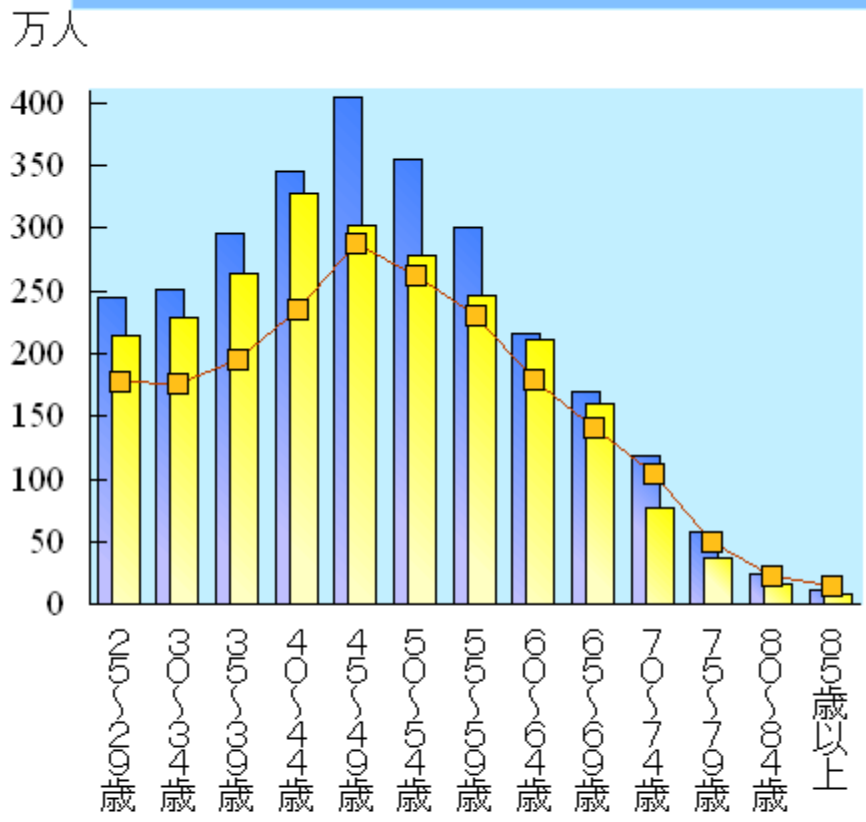


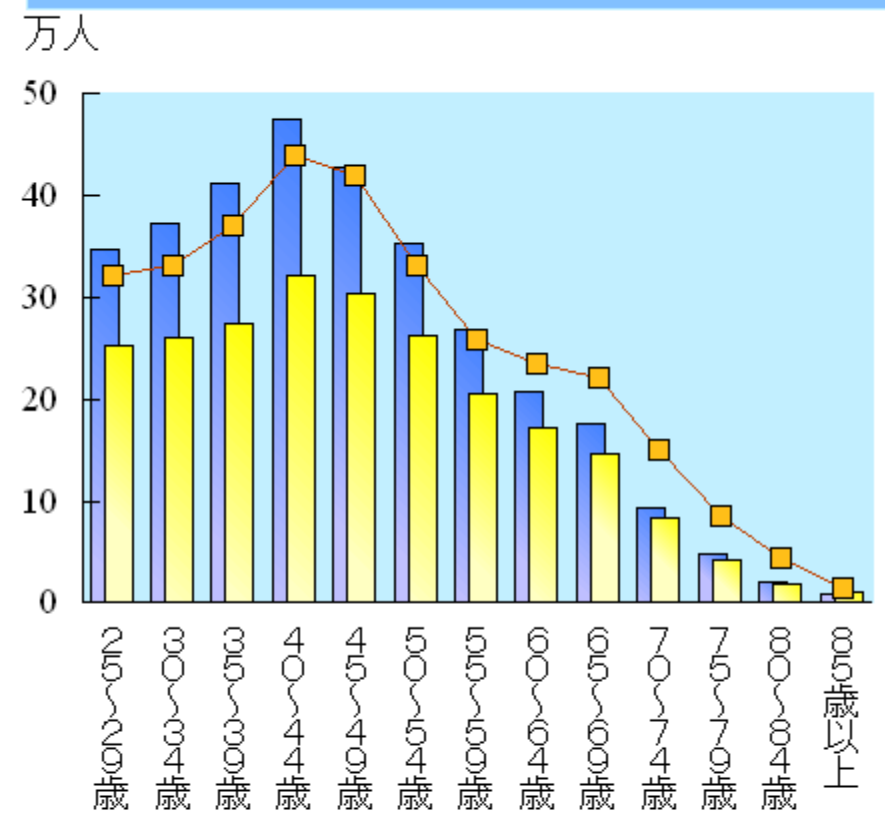
もし島根県なみに女性が働きやすければ

日本の25歳以上の女性就業者数
2015年国勢調査・非正規・外国籍含む



就業率が島根県並みの場合: +423万人
■ 全国実数
■ 就業率が東京都並みの場合: △297万人
—■—

都在住の25歳以上の女性就業者数
2015年国勢調査・非正規・外国籍含む



就業率が島根県並みの場合: +86万人
■ 東京都実数
■ 就業率が島嶼部並みの場合: +87万人
—■—

止められないこと・できること

× 止められないこと

- 今の住民が毎年1歳ずつ歳を取っていくこと
- (多くの) 若者が地域外に就職して出て行くこと

△ 変えられること

- これまでは一度出て行ったきり帰ってこなかった若者たちを、今後は工夫次第で呼び戻せる
- 子育て世代の支援で、出生率を高くできる

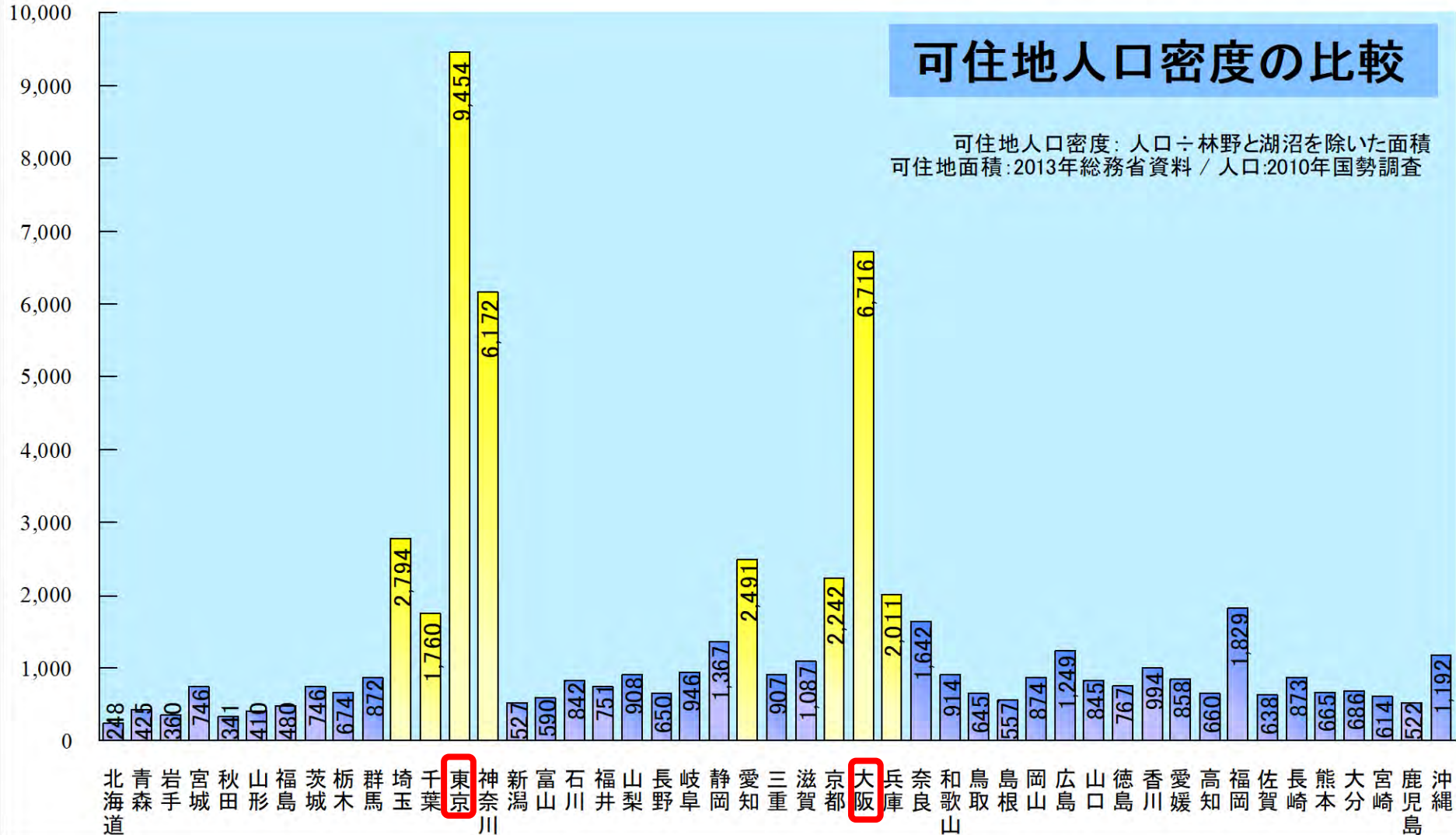
○ おしろ前向きにできること

- 子育てしながら働く若い世代を呼び込める
- 無病息災で天寿を全うする高齢者を増やせる
- 来訪・滞在・短期定住する外来者を増やせる

付1. コロナ禍で 再認識された 大都市の過密と 田舎の“適疎”

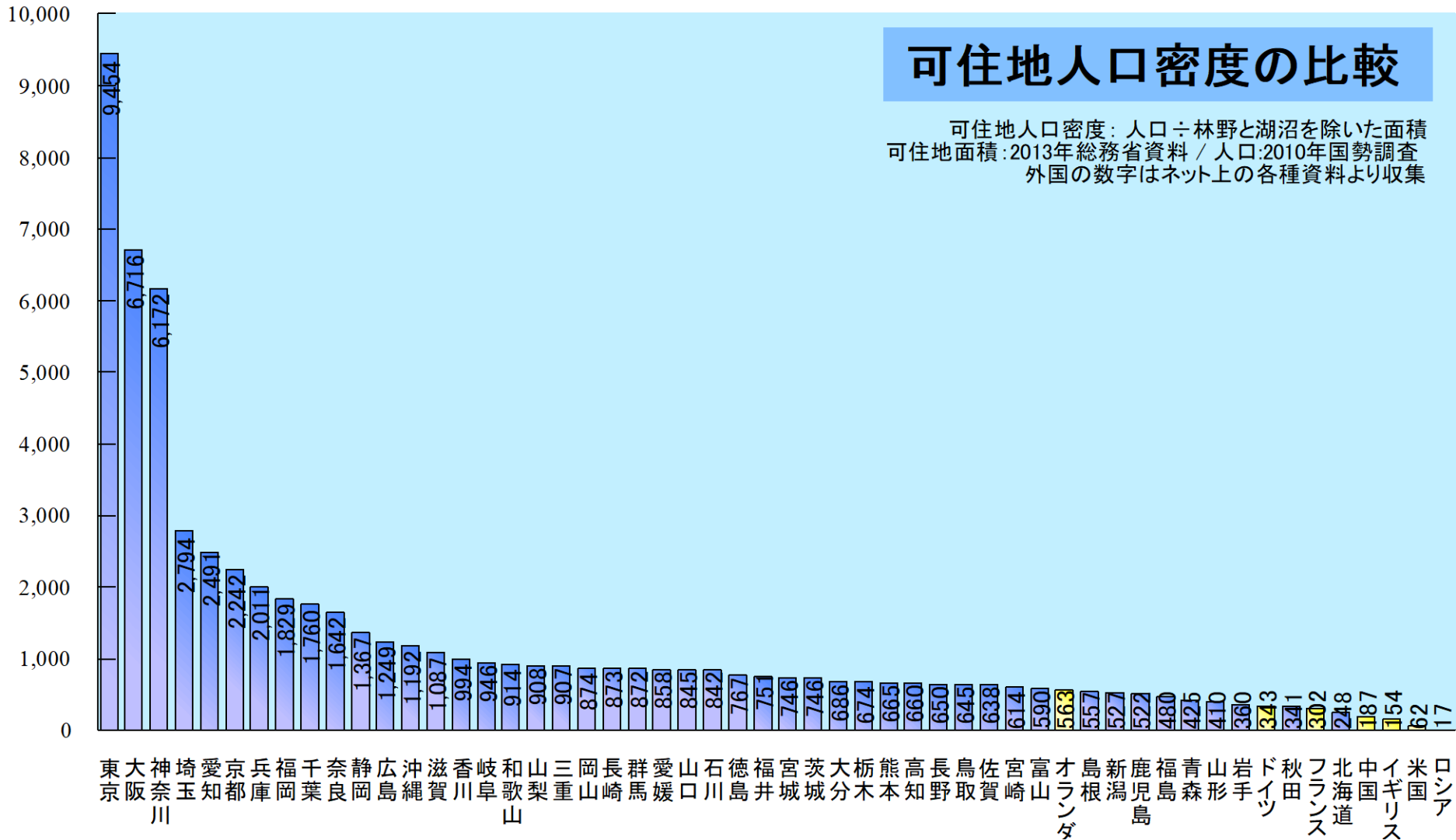
大都市圏に比べると とにかく人が少ない田舎...？

人／平方キロ



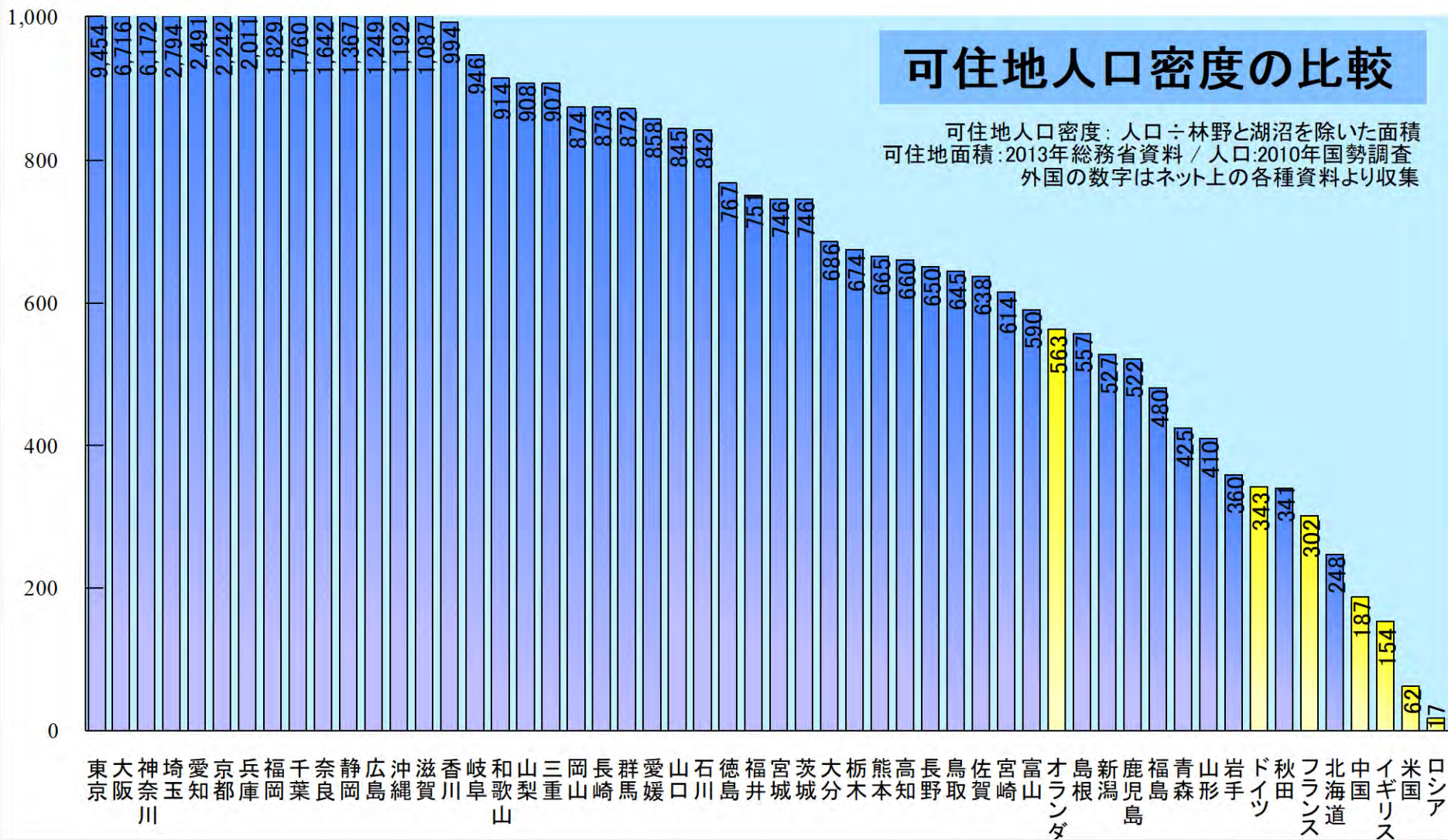
日本の大都市圏は世界的に見れば異常なまでの人口過密地

人／平方キロ



日本の過疎県も欧州にあれば 人口稠密地帯

人／平方キロ

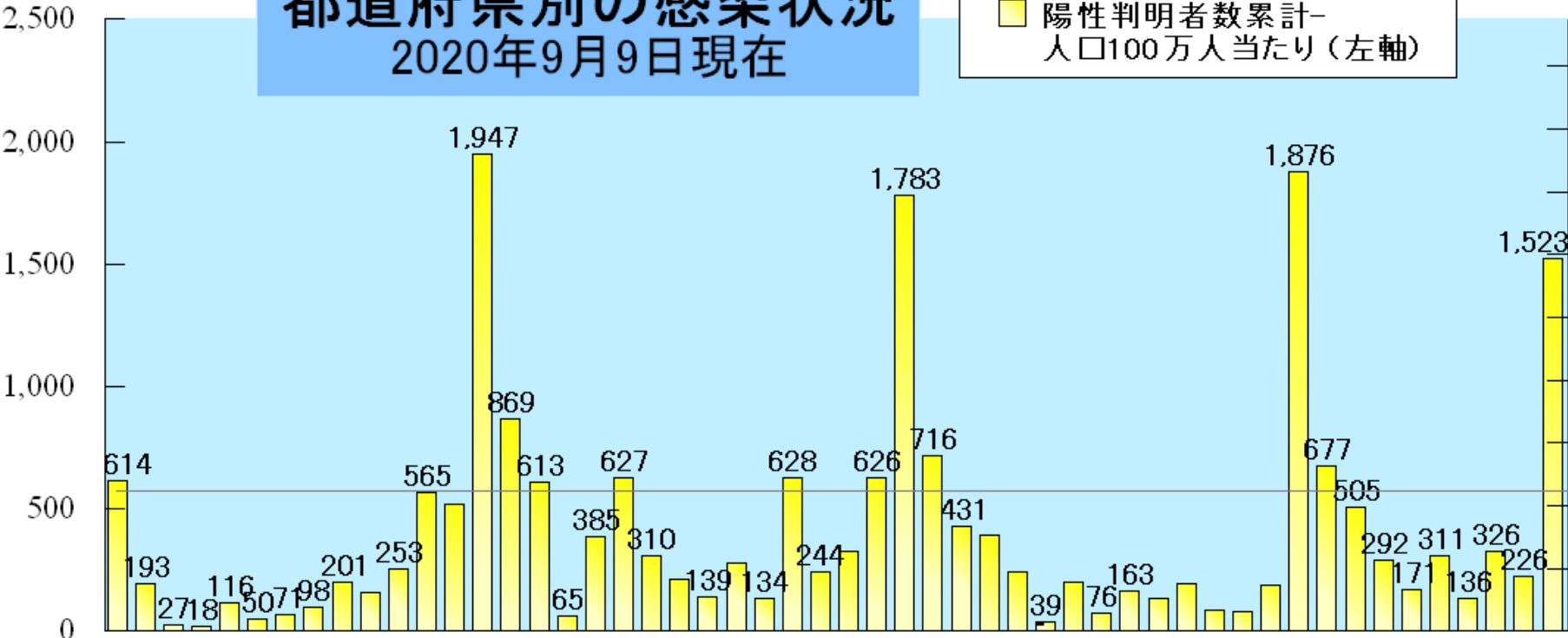


同じ日本国内でこれだけ違う感染状況

人口100万人あたりの
陽性判明者数(人)

都道府県別の感染状況 2020年9月9日現在

■ 陽性判明者数累計-
人口100万人当たり(左軸)



陽性判明者数: 時事通信社調べ
人口: 2019年1月1日の住民基本台帳人口

感染拡大と人口密度は強く相関

人口100万人あたりの
陽性判明者数(人)

人口÷可住地面積
(千人/km²)

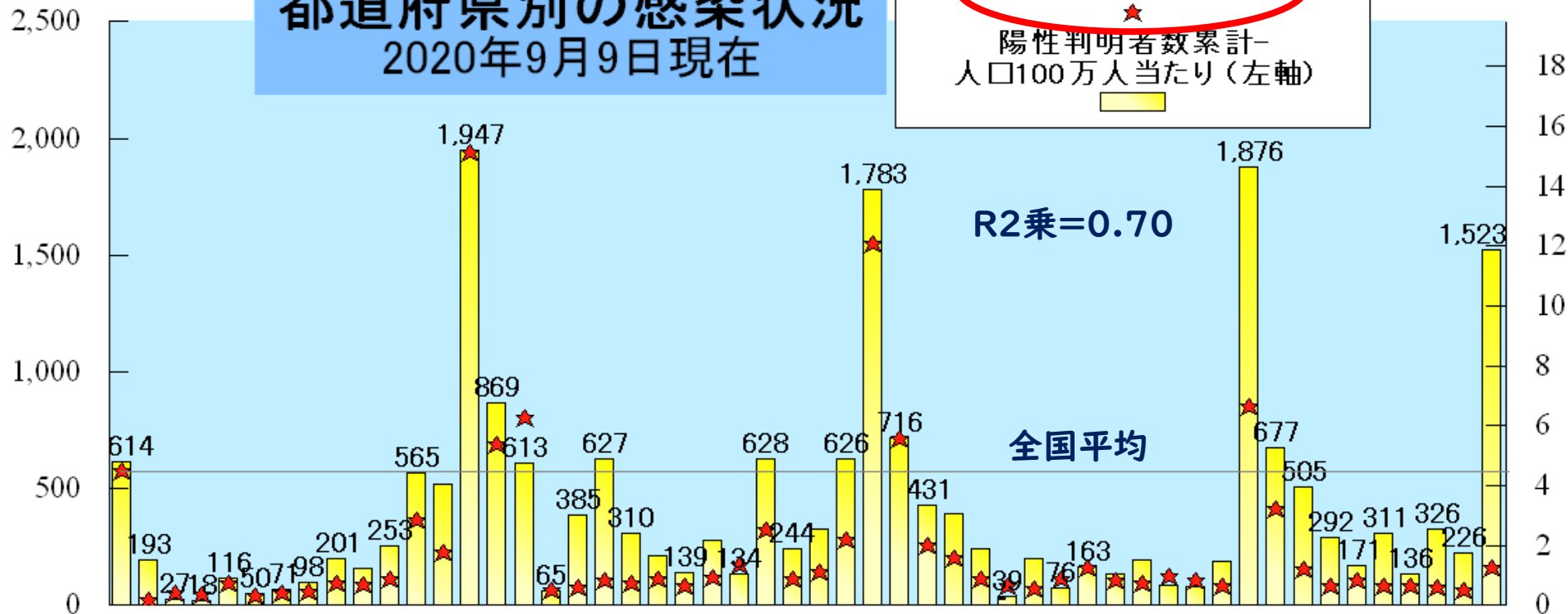
都道府県別の感染状況 2020年9月9日現在

可住地人口密度(右軸)

★
陽性判明者数累計-
人口100万人あたり(左軸)

R2乗=0.70

全国平均

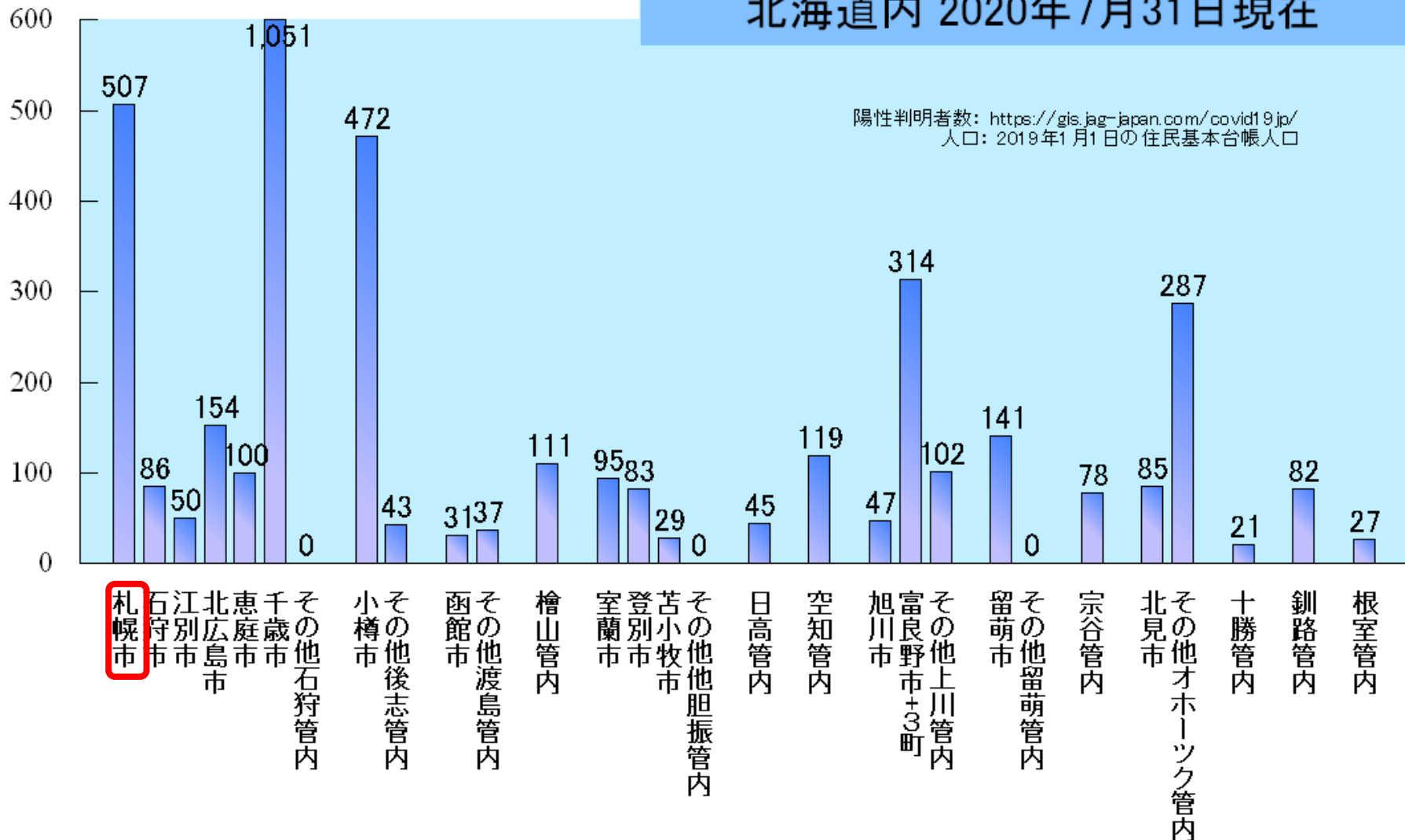


陽性判明者数: 時事通信社調べ
可住地面積: 2016年総務省資料
人口: 2019年1月1日の住民基本台帳人口

同じ都道府県内でも地域差は巨大

陽性判明者数の累計
(人口100万人あたりに換算)

新型コロナウイルスの感染状況 北海道内 2020年7月31日現在



同じ都道府

は差は巨大

ということで
必要だったのは

陽性判明者
(人口100万)

染状況

600

500

① 地域の実情に応じた対応
(かないの地域で自粛はそもそも不要だった)

② 全国一元のワイドショーに煽られる
住民の不安の緩和・解消



信頼できる政治家による説明

③ 地域ごとの対応に伴う責任の明確化



選挙で選ばれた政治家の決断

つまり地方分権。

既市

27

根室管内

路管内

管内

ツク管内

**付2. 世界では
は札幌が
標準的な規模**

札仙広福の都市圏規模は世界標準

万人

